

EDI共通基盤の 取組みについて

— 目 次 —

1. EDI共通基盤の位置づけ
2. 現状の課題
3. EDI共通基盤の取組み
4. JEITA共通クライアント提供について
5. 導入企業・ソリューションプロバイダへのお願い

1. ED / 共通基盤の位置づけ

標準化レイヤー		内 容
ビジネスプロセス (業務モデル)		・ ビジネスシナリオ ・ 業務運用規約 等
標準メッセージ		・ XML ・ C I I
ED / 共通基盤 (情報伝達の ためのインフラ)	プロセ 制御	・ BPSS (必要に応じて選択)
	EDI 転送	・ ebMS、全銀手順 等 ・ ASP相互接続/運用標準

- ・ 国際標準・国内標準・業界標準の優先順位で採用検討
- ・ 業務運用環境、ネットワーク環境を考慮した標準化推進

2. 現状の課題

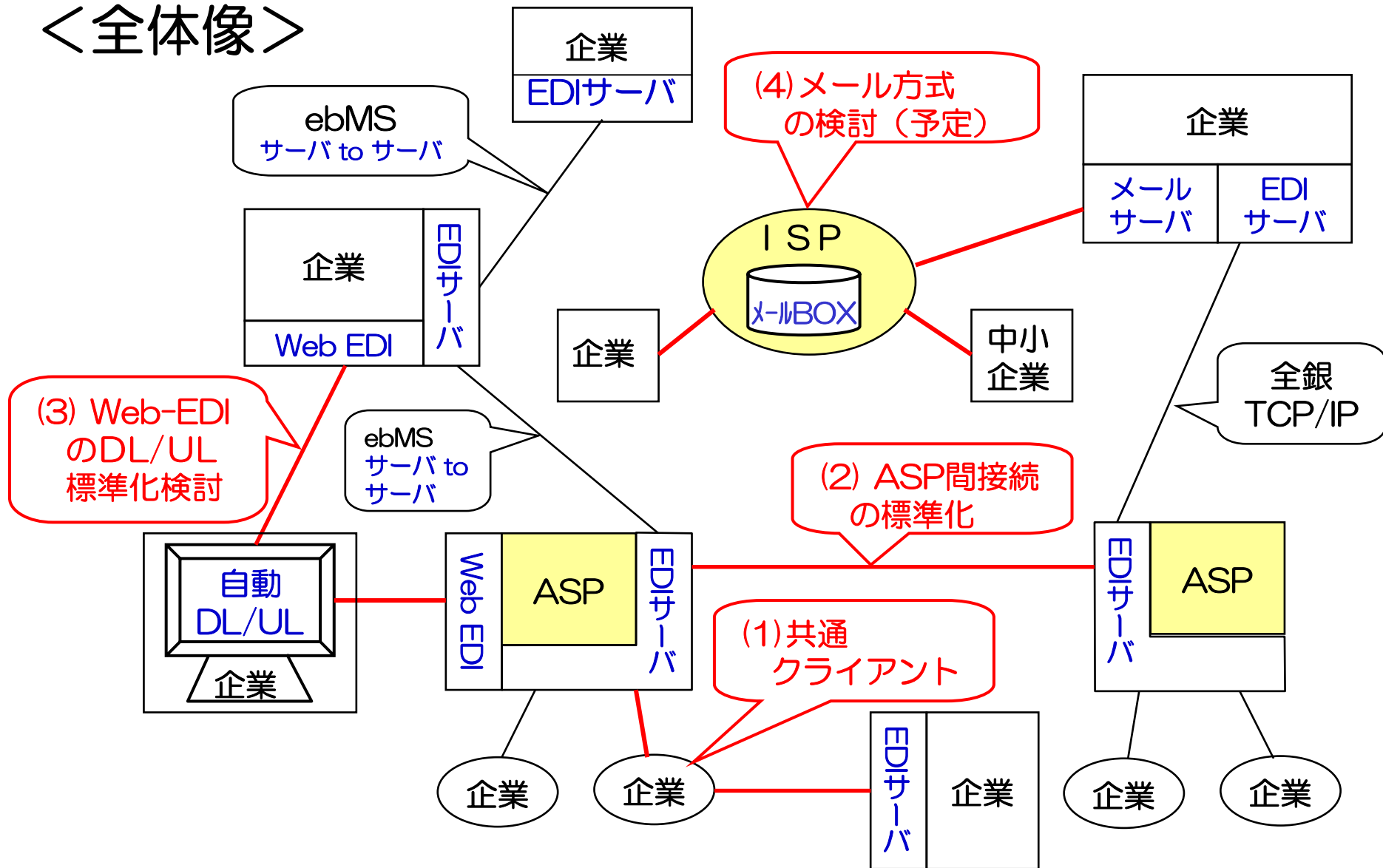
＜現状＞	メッセージ	XML	C I I
EDI 転送方式	ebMS(サーバ型) (TCP/IP個別)	全銀手順 (TCP/IP個別)	

【現状の課題】

- ebXML/ebMSサーバへの投資対効果が見えない
- プロセスを自動制御できるほど業務が標準化されていない ⇒ BPSSでは対応できない
- 複数ASP接続の懸念／接続プロトコルの相違
- Web-EDI進展による業務システム自動連携の弊害
- 中小企業導入にはコスト高

3. EDI共通基盤の取組み

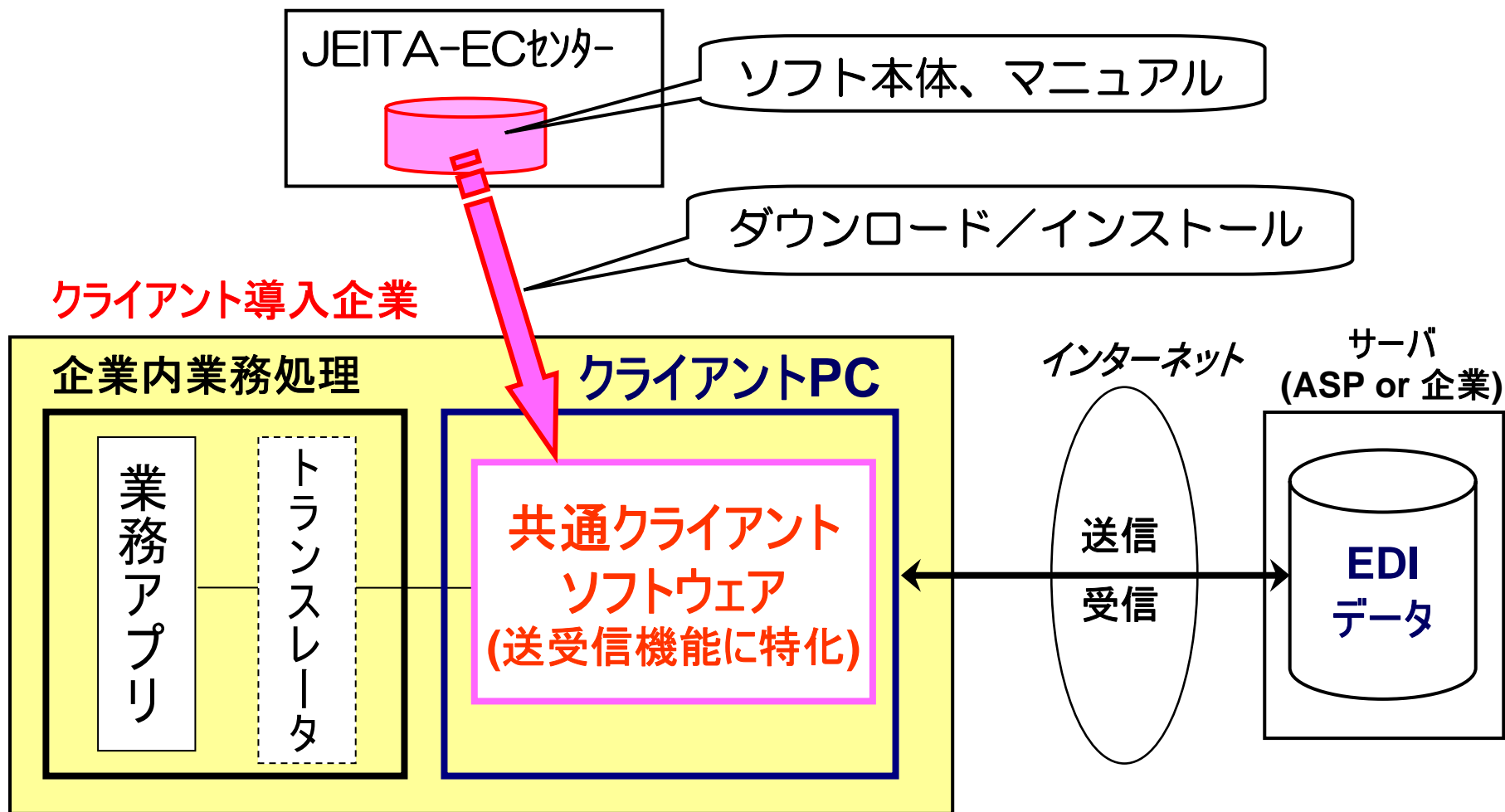
<全体像>



3. EDI共通基盤の取組み

(1) JEITA共通クライアント（無償提供）

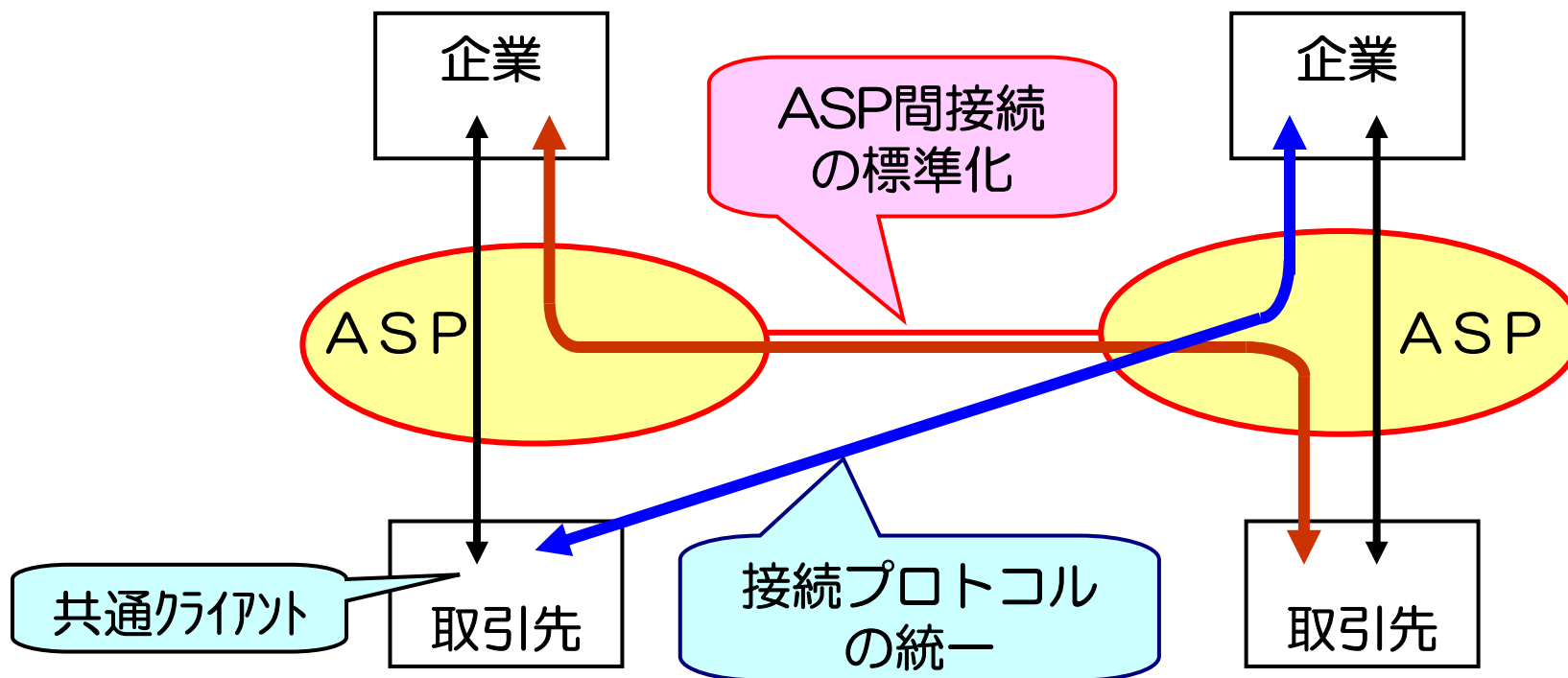
- ・インターネットを介したEDIデータの送受信を安価かつ容易に実現



3. ED / 共通基盤の取組み

(2) ASP間接続およびASP接続プロトコルの標準化

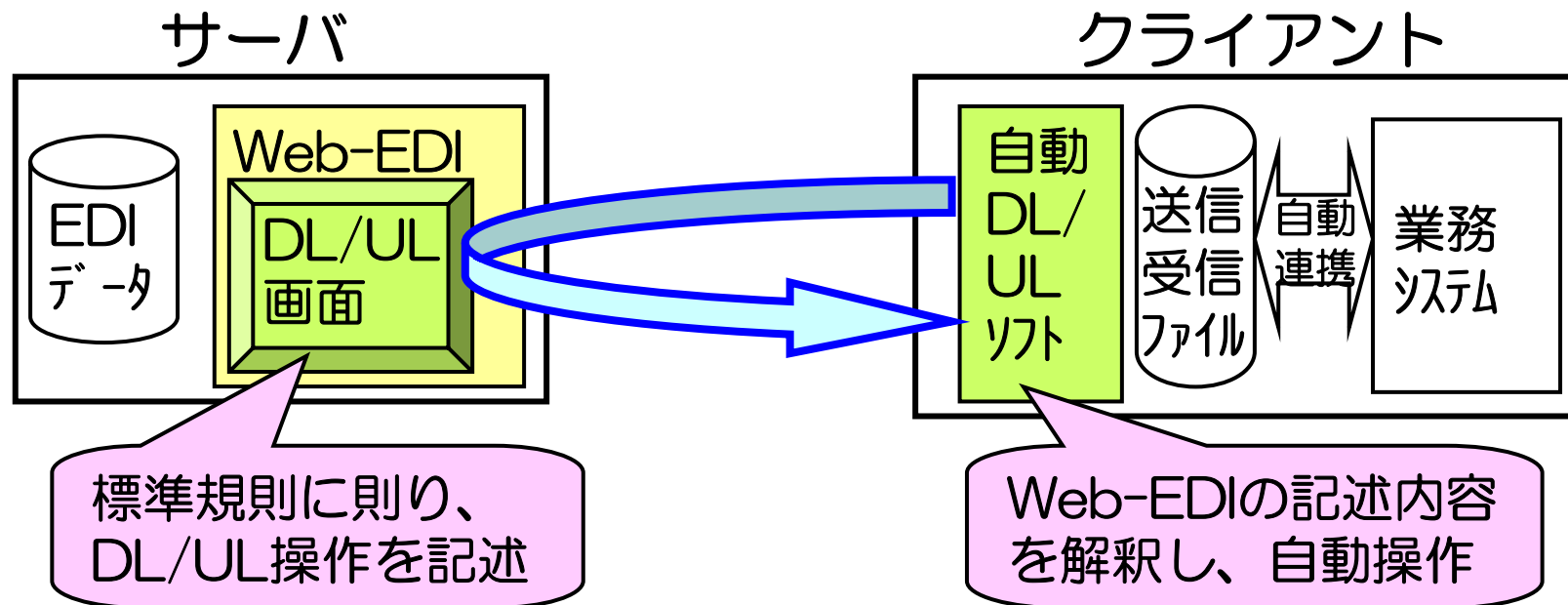
- ebMSによるASP間接続の標準化
⇒実証実験済、運用諸規則の取り決め
- ASPでの共通クライアントサポート



3. ED / 共通基盤の取組み

(3) Web-EDIのDownLoad/UpLoad標準化検討 -既存プログラムに極力影響を与えない方式の検討-

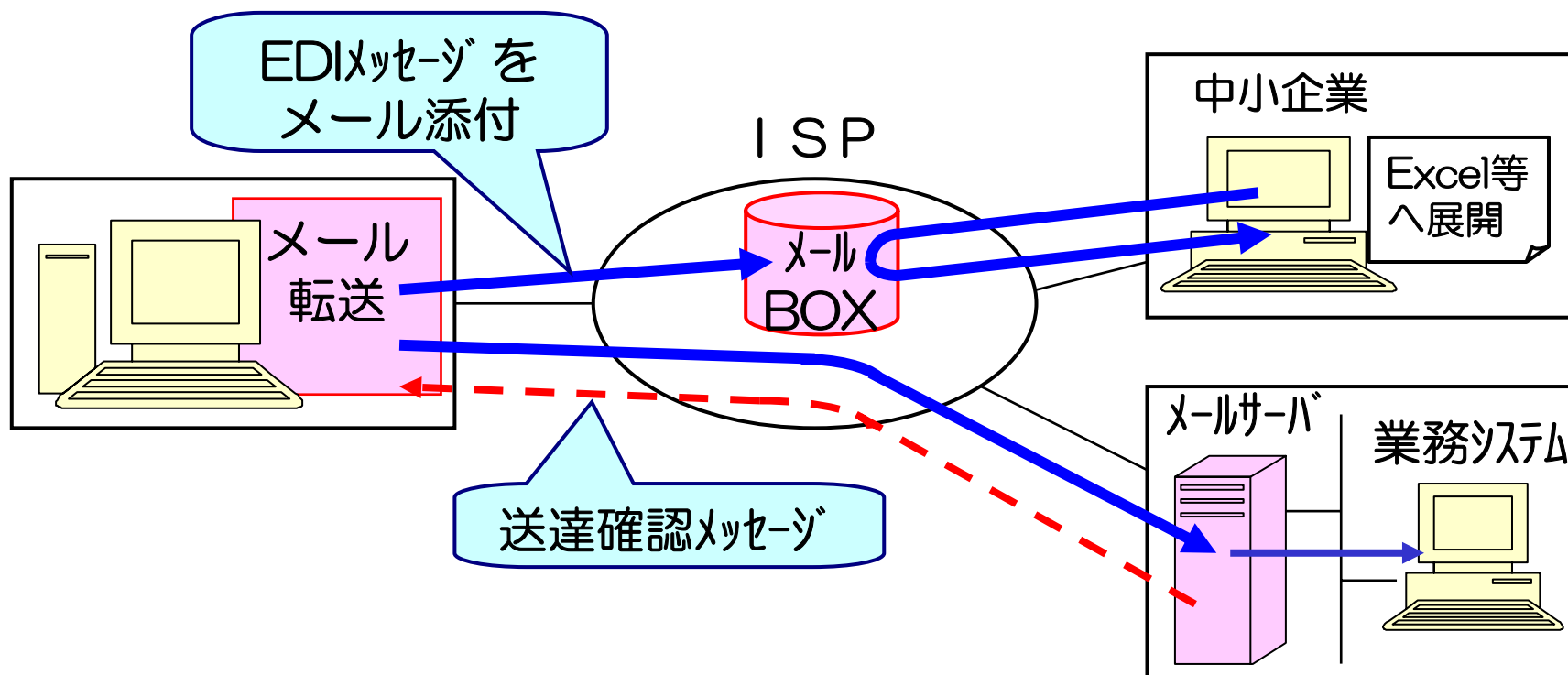
- ・ DL/ULができる画面（ボタン）を用意する
- ・ 標準規則に則り、HTML上にコメント記述する
⇒ ・ ID/パスワード入力位置とログインボタン位置
 ・ DL/UL画面までの遷移とボタン位置
- ・ DL/ULフォーマット・項目はECALGA準拠



3. ED / 共通基盤の取組み

(4) メール方式の検討（予定）

- メール環境を活用し、安価・容易にEDIを実現
⇒運用ルールの標準化
(セキュリティ、メールアドレス、添付ファイル、送達確認 等)



4. JEITA共通クライアント提供について

■提供開始時期：2006年 6月初

■提供方法

- ・ JEITA-ECセンターホームページからダウンロード
- ・ 提供物：ソフトウェア本体
インストールマニュアル
操作マニュアル 等
- ・ 利用規約への同意

■その他

共通クライアントソースおよびテスト用サーバ側ソースの提供については事務局にご相談ください。

5. EDI導入企業・ソリューションプロバイダへのお願い

- 共通クライアントに対応するサーバ側サポート
- ECALGA対応ASPサービスの相互接続
- Web-EDIへのDL/UL標準の組み込み
- 中小企業向け業務パッケージの共通クライアントインタフェース対応

⇒ 導入企業のIT部門、ソリューションプロバイダへの説明会を8月頃実施予定